

# 日本建築における色彩

濱 島 正 士

---

はじめに

1. 古代の寺院建築

2. 中世の寺院・神社建築

3. 近世の神社・霊廟建築

---

## 論文要旨

日本の寺院・神社の建築には、装飾の一環として各種の塗装・彩色がされている。何色のどんな顔料がどのような組合せで塗られているのか、それは建築の種類によって、あるいは時代によってどう違うのか、また、建築群全体としてはどのように構成され配置されているのだろうか。これらの点について、古代・中世はおもに絵画資料により、近世は建築遺例により時代を追って概観し、あわせて日本人の建築に対する色彩感覚にもふれてみたい。